

## 「医療保育—ぜひ知っておきたい小児科知識」改訂第2版

お買い上げありがとうございます。  
まことに申し訳ございませんが、前付け“v”および“vi”の目次の記載に多数の誤植がございます。  
下記の修正済みページをプリントアウトの上ご利用くださいますようお願い申し上げます。

ご迷惑をおかけして申し訳ございません。  
こうした事故の起こらぬようさらに細心の注意徹底を図ります。  
今後ともよろしくご愛顧のほどお願いいたします。

2009年9月30日  
株式会社 診断と治療社 編集部



# 目次

<b>I</b>	<b>医療保育概論</b>	<b>1</b>
A.	医療保育とは	1
B.	病児・障害児保育の保健管理	5
C.	医師および看護師との連携	12
D.	地域との連携	13
E.	保護者との連携	14
<b>II</b>	<b>救急対応法</b>	<b>16</b>
A.	子どもの一次救命処置	16
B.	心肺蘇生の実際	17
C.	異物による気道閉塞	22
<b>III</b>	<b>事故防止と対応</b>	<b>24</b>
A.	わが国における乳幼児の事故発生の現状	24
B.	「不慮の事故」による死亡原因	25
C.	家庭内における事故	26
D.	保育園における事故	26
E.	病院における事故	27
F.	事故時の対応	27
G.	リスクマネジメントと事故防止	28
H.	保護者に対する 家庭内事故防止の指導	29
<b>IV</b>	<b>小児虐待への対応</b>	<b>34</b>
A.	わが国における小児虐待の実態	34
B.	初期対応	36
C.	小児虐待の発生要因	37
<b>V</b>	<b>発達障害</b>	<b>38</b>
A.	発達障害者支援法と発達障害の定義	38
B.	発達障害児のおかれている現状	38
C.	自閉性障害 (Autistic Disorder)	40
D.	アスペルガー障害 (Asperger's Disorder)	43
E.	学習障害 (LD)	45
F.	注意欠陥/多動性障害 (ADHD)	46
G.	保護者を相談・医療機関へつなげる	49
<b>VI</b>	<b>乳児突然死症候群 (SIDS : Sudden Infant Death Syndrome)</b>	<b>50</b>
A.	乳児突然死症候群の定義	50
B.	SIDS発生の頻度	50
C.	SIDS発生のリスクファクター	51
D.	保育園での防止対応	51
E.	親へのサポート体制	52
<b>VII</b>	<b>アレルギー対応方法</b>	<b>53</b>
A.	食物アレルギー	53
B.	気管支喘息	56
C.	アトピー性皮膚炎	56
<b>VIII</b>	<b>感染症対策</b>	<b>58</b>
A.	感染経路パターン	58
B.	予防できる感染症と治療できる感染症	59
C.	職員のワクチン予防可能疾患対策	60
D.	女性職員に対する対策	61
E.	感染症対策の基本	61
F.	学校保健法	63
G.	予防接種の基本	64
<b>IX</b>	<b>疾患の概論と各論</b>	<b>71</b>
A.	症状と疾患の概説	71
1.	発達遅滞	71
2.	発熱	72
3.	けいれん	73
4.	腹痛	74
5.	嘔吐	75
6.	下痢	76
7.	機嫌が悪い	77
8.	発疹	78
9.	下肢痛	79
B.	疾患各論	80
1.	感染症	80
2.	神経系の疾患	89
3.	アレルギー性の疾患	94
4.	循環器系の疾患	96
5.	腎臓の疾患	99
6.	代謝・内分泌系の疾患	102
7.	消化器系の疾患	105
8.	血液の疾患	107
9.	悪性疾患	109
10.	呼吸器系の疾患	112
11.	皮膚の疾患	114
12.	耳鼻咽喉系の問題	116
13.	目に関連する疾患	118
14.	手足に関連する疾患	119
	<b>参考文献</b>	<b>121</b>
	<b>索引</b>	<b>123</b>

目次